

令和5年度 決算審査特別委員会

- ◆ 決算審査特別委員会設置 令和6年9月18日
 決算審査特別委員会 17人（議長・監査委員を除く議員）
 ◎委員長 重久 昌樹
 ○副委員長 渕合 昌昭
- ◆ 各分科会に分かれ、所管ごとの専門的な審査を行いました。（現地調査を含む）

総務分科会 文教厚生分科会 産業建設分科会	}	令和6年9月19、20、24、25日（4日間）
-----------------------------	---	-------------------------
- ◆ 決算審査特別委員会 令和6年10月2日
- ◆ 慎重に審査した結果、10月4日の本会議において「認定すべき」と報告しました。

各会計決算額

会計名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		305 億 6,602 万円	294 億 492 万円
特別会計	国民健康保険特別会計	56 億 3,995 万円	55 億 3,097 万円
	後期高齢者医療特別会計	6 億 4,191 万円	6 億 3,553 万円
	介護保険特別会計	62 億 5,649 万円	56 億 8,827 万円
	生活排水処理事業特別会計	7,202 万円	6,970 万円
水道事業会計	収益的収支	5 億 7,344 万円	4 億 9,431 万円
	資本的収支	0 円	4 億 3,411 万円
	資本的支出額に不足する額 4 億 3,411 万円は、過年度分損益勘定留保資金 4 億 493 万円（減価償却費 4 億 493 万円）、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,918 万円で補てんした。		
公共下水道事業会計	収益的収支	2 億 3,611 万円	1 億 9,285 万円
	資本的収支	1 億 1,123 万円	2 億 1,182 万円
	資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1 億 58 万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 895 万円、当年度分損益勘定留保資金 7,678 万円（減価償却費 6,431 万円、資産減耗費 1,246 万円）、利益剰余金 1,485 万円（繰越利益剰余金 1,485 万円）で補てんした。		

（1 万円未満切捨て。端数処理の関係で数値が合わない箇所があります。）

※収益的収支とは、施設を維持管理するための経費とその財源のことです。

資本的収支とは、施設の建設や整備・改良にかかる経費とその財源のことです。

総務分科会

問 行政改革について、今後の職員数や職員配置の動きは。

答 定員適正化計画の職員数の目標値については、本年度実施中の業務量調査の結果も踏まえ、行政改革推進本部会議等で改めて検討し、住民サービスが低下しないよう適正な職員配置に努めていきたい。

問 各支所の職員数減によるサービス低下の懸念は。

答 両支所完成後、業務が落ち着いた時期に改めて状況を調査していきたい。

意見 行政改革における大隅・財部両支所の職員配置については、庁舎完成後も実際の業務実態を把握し、住民サービスが低下しないよう最大限努められたい。



SKLV 上空から見た財部市街地

問 宅地分譲地整備管理事業の財部南俣地区の分譲予定地購入について。

答 当初、ミニ分譲地として整備・販売する計画を持っていたが、公民連携を前提とした民間との連携による進め方を模索する中で、現状として、事業の進捗が止まっている状況となっている。公民連携による財部市街地のまちづくりを進める構想については、長期的な手法とも考えられることから、公民連携で進める事業と早急にやるべき事業との棲み分けも含めて、総合的にどのような形態で進めていくべきか協議していきたい。



曾於市クリーンセンター 現地調査

問 曾於市クリーンセンターでのごみ収集・分別業務について。

答 業務に携わる方々が人員不足にならないような取組の必要性も認識している。現場で事故が起こらないよう、状況を把握し確認したい。

意見 直接ごみを搬入される方々も近年増加しており混雑する状況も見られることから、現状を把握し、現場での業務の負担軽減に努めるべきである。

生活排水処理事業特別会計

問 市町村設置型による浄化槽の譲渡状況は。

答 市町村設置型による浄化槽 1,109 基のうち設置後 10 年を経過した浄化槽について、令和 4 年度より設置年度の古いものから所有者への無償譲渡を開始し、令和 4 年度 80 基、令和 5 年度 148 基の譲渡が完了した。

問 公債費について。

答 下水道事業債については、令和 24 年度まで償還が続く。また、使用者が死亡し、空き家となった場合の対応についての質疑に対し、相続人が見つからなかった場合は休止扱いとなり、使用料は不納欠損となる。また、最終的な撤去の責任は市に出てくるが、撤去費用については今後の課題である。

文教厚生分科会



すえよし子育て支援センター 現地調査

問 放課後児童クラブについて、令和6年4月1日から安全計画の策定が義務化されたが、令和5年度の策定状況と本年度のチェック状況等はどうか。

答 安全計画は全児童クラブで策定されており、本年度に入ってからの実施状況の確認や見直しも随時お願いしている。安全計画の内容については、もう少し見直しが必要なところも見受けられる。

意見 放課後児童クラブの安全計画について、認定こども園が運営している放課後児童クラブは、職員が日頃から様々な研修を受けているので安心できるが、ほかの児童クラブでは安全計画が形がい化して機能していないところも見受けられるので、運用面での指導を望む。

また、子育て支援について、多岐にわたる悩みを持つ親が増えている。ネットツールを通じて子育て世代の悩みを吸い上げ、支援していくように。



大隅総合運動公園武道館 現地調査

曾於市立図書館本館、曾於市民プール及び大隅総合運動公園武道館を現地調査しました。

意見 現地調査を行った施設はいずれも老朽化が激しかったが、そのようになっているのは、現在まで現状把握の徹底や定期的な保守点検がなされていなかったがゆえにこういう結果を招いた。今の実態について徹底した検証を行い、行政としてどうするか判断するべきである。また、現に利用者もいることから、そういったことを解決しないまま単純な施設の統廃合にならないよう配慮を求める。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、各都道府県の後期高齢者医療広域連合が保険者となり、保険料の制定や医療費の支払等を行っています。

問 給付実績が多かった疾患は何か。

答 1位が心疾患、2位が腎不全であった。

反対討論 広域連合による本特別会計の制度上の理由から、反対である。

介護保険特別会計

問 介護保険事業の今後の課題について。

答 介護人材不足が大きな問題で、ホームヘルパーは家に入っていくということで希望者が少なく、サービスを維持していくのが困難な状況である。また、各入所施設も人員不足のため、定員まで入居者を受け入れられない状況にある。

反対討論 令和3年度から5年度まで、保険料の必要以上の引上げが行われた。令和5年度決算状況を見ても、必要以上の引上げであったために大きな剰余金が生じている。こうした財政運営等には賛成できない。

産業建設分科会

現地調査を実施



整備された溝ノ口洞穴駐車場



大内田地区頭首工



コケキャンチ高之峯公園に
再整備されたパーゴラ



令和5年度に整備されたパドック式牛舎

問 パドック式牛舎の設置者が減少したこと、また、申請者が増えない要因について。

答 事前調査の段階では希望者は多かったが、4月以降の申請の段階で、子牛価格の暴落の影響を受けて実施できない農家が多かった。

問 自給飼料に関する取組について。

答 粗飼料を自給することで、コスト削減にはなるが、増産するためには新たな機械導入などのコストが発生するため、農家は無理のない、できる範囲内での増産に取り組まれている。

問 自治会による清掃活動の減少が、市道清掃・伐採委託業務に影響を与えているか。

答 令和5年度は自治会清掃の範囲の見直し要望が11件あり、現時点ではシルバー人材センターや市の道路維持班の範囲を増やすことで対応できているが、今後も要望が増えると予想しているため、対応を協議していきたい。

公共下水道事業会計

下水道の接続状況は、接続戸数1,862戸、水洗化人口2,962人で、処理区域内人口4,000人に対し74.04%の接続率となっています。

問 下水道の接続率について。

答 当初の目標が70%であったので、目標は達成されている。維持管理の面や接続率の上昇を仮定すると、処理能力に余裕がないため、処理系統を増設することが望ましい。